



「時が良くても悪くてもしっかりやりなさい。」

(新約聖書 テモテへの手紙第二 4章2節より)

2021年を振り返って「良い一年だった」と心から言える人は日本でも世界でも少ないかもしれません。「コロナ禍」は2年目に突入しても出口が見えず、さまざまな情報に翻弄されて心身ともに疲れ切ってしまった人も多いのではないのでしょうか。

そんな時代にありながら、新しい命の誕生や新しい人生の出発を喜ぶ機会が与えられていることは、本当に神様の奇跡のように思います。また、自分のことだけで精一杯になっても当然の環境下で、変わらず支援くださっているこのニュースレターの読者の皆様にも感謝の気持ちでいっぱいです。

2022年もまた、人間にはコントロール不能なさまざまな出来事があるかもしれません。どんな時にも自分の弱さと神の強さの上に立ち、しっかりと歩む私たちがありたいと思います。

ボランティアスタッフ/カウンセラー
吾妻美代子

- 写真左：LHNのホームページがリニューアルしました！
- 写真右上：カフェ・モナミでのクリスマスリース作りのイベントにて。
- 写真右下：ホームステイに産まれた赤ちゃん。今は養親さんのもとですくすく育っています。

数字で振り返る2021年

7名

ホームステイ新規受け入れ

前年度からの継続ではなく新規で年間7名という人数は、近年にない多さでした。長期にわたり満室状態が続いた時期もあり、その間スタッフの健康が守られ、運営が滞りなく続けられたことにも感謝します。

10名

妊娠相談で出産を決意（妊娠相談総数の約1割）

コロナ禍で社会全体に不安感が漂い、予期せぬ妊娠をした女性が前向きな選択をすることは今まで以上に困難な側面が増えていると感じます。その中で年間10名の小さな命が救われたことを嬉しく思います。

3名

中絶後のステップカウンセリング修了

中絶後相談者の約4割がステップカウンセリングに進み、そのうちの約8人に1人が最後のステップまで修了しました。心の傷と真剣に向き合おうとする相談者に多く出会えたことは大きな恵みでした。

シングルマザーになったホームステイのインタビュー



Q1. 妊娠がわかった時、どんな気持ちでしたか？

驚きました。嬉しかったです。産婦人科に行った時はもう妊娠4ヶ月で、エコーを見て「人間だ！」と思いました。

Q2. なぜライフ・ホープ・ネットワークにきましたか？

市役所の紹介です。最初にこの場所のことを聞いた時は不安でした。行動制限があったりするのではないかと。まず一回来てみて、と言われて、市役所と保健師の方と一緒に来てシンシアさん（代表）と話しました。来て話してみたら温かく感じて、ここだったら大丈夫かもと思って、その場でステイの予定を決めました。でも実際には予定日より早く産まれてしまい、出産後からのステイになりました。

Q3. ライフ・ホープ・ネットワークでの生活はどうでしたか？

一人にならなくてよかったです。産後すぐの時期に、家で自分一人だけで赤ちゃんの世話をしなければならなかったらどうなっていたらと思うと思います。ごはんも嬉しかったし、マイカ（シンシアの息子）も嬉しかったし、他のホームステイがいたのも良かったです。助産師さんに指導に来てもらって子育てにも少しずつ慣れることができて、今自分のアパートに移ってからもうまくできています。

Q4. これからのことについてはどうですか？

もうすぐ子どもが保育園に入る予定です。引っ越しもして、また仕事も始めて、楽しくやれたらいいなと思います。

Q5. 同じような状況の方にメッセージはありますか？

妊娠することで自分の自由が制限されるように感じる人もいると思います。行きたいところに行けない、食べたいものが食べられない、など、思いがけない妊娠をした人は特に感じてしまうと思います。でも赤ちゃんが産まれると愛情を感じて、一緒にお出かけしたり、逆に一人ではできないことができるようになって、「二人だから楽しい！」と今思っています。



Q1. 妊娠がわかった時、どんな気持ちでしたか？

驚きました。ちょうど家出中で、親との関わりもない時だったので困りました。

Q2. なぜライフ・ホープ・ネットワークにきましたか？

最初は区役所に相談に行って、緊急の一時避難で母子寮に入れてもらいました。それから、出産までの間住める場所としてライフ・ホープ・ネットワークを紹介してもらいました。

Q3. ライフ・ホープ・ネットワークでの生活はどうでしたか？

嬉しかったです。自分とは違う背景の人たちと関わることができて、キリスト教の勉強にもなりました。自分が妊娠6ヶ月の頃にちょうど別のホームステイの赤ちゃんが生まれて、それまで家族や親戚の中でも小さな子と関わる機会はなかったのですが、まだ首も座っていない新生児の世話に慣れることができました。

Q4. これからのことについてはどうですか？

子どもと一緒に住む家を見つけて、仕事もできたらいいなと思います。

Q5. 同じような状況の方にメッセージはありますか？

子育ては楽しいです！今産もうかどうか迷っている人や困っている人はなるべく早く相談してほしいと思います。

支援の輪を広げるために・・・



特別養子縁組について話しましょう！

特別養子縁組についてカジュアルに話をする場として、初めての「Adoption Cafe」を3月21日に開催予定です！LHNが非営利で運営するカフェ・モナミにぜひお越しください。クリスチャンの養子縁組あっせん事業者である「NPO みぎわ」や、実際に養子を迎えたご夫婦と直接会って話せるチャンスです。事前予約制となっております。詳しくは別紙のチラシをご参照ください。もしも身近に特別養子縁組に興味のあるご夫婦がいらっしゃいましたら、ぜひこの情報を共有いただければ嬉しく思います。

また、同様のイベントを今後も継続的に開催していきたいと考えています。メールや郵送でイベントのご案内の受け取りを希望される方は、LHN事務局 (support@lifehopenet.com) までぜひご連絡ください。

このイベントでお話いただくNPOみぎわとの出会いは、LHNにとって2021年の大きな出来事の一つでした。奈良県を拠点に活動しているNPOで、昨年私たちのホームステイに産まれた赤ちゃんの特別養子縁組を引き受けていただきました。また、名古屋市内の産婦人科から私たちに相談のあった女性についても、みぎわさんを通して特別養子縁組を進めていただきました。今後もさまざまな形で一緒に活動していくことを願っています。

NPOみぎわ ホームページ <http://migiwa.link>



他団体・機関とのつながり

2021年は、私たちのこれまでの経験をさまざまな方と共有する機会にも恵まれました。

- 困っている妊婦さんに住まいの提供をする際の注意点についての研修（助産師向け）
- 産みの親の側に焦点を当てた特別養子縁組についての研修（助産師向け）
- 予期せぬ妊娠をした時の選択肢についての研修（一般企業で働く女性向け）
- 予期せぬ妊娠をした女性に対する支援に関するインタビュー（民間研究機関への協力）
- 中絶後に苦しむ女性へのケアに関するインタビュー（厚生労働省委託による調査への協力）

私たちのような小さなボランティアグループが人前で「講師」をするということ自体に戸惑いを覚えそうになることもありますが、後援依頼者や参加者の方々の熱意に毎回励まされました。

また、SNSやブログでも、少しずつ私たちの経験からできるアドバイスの発信を始めています。このニュースレターの最後にあるアカウント情報より、よろしければぜひフォローください。

- 写真：名古屋市立大学助産学同窓会での講演より



2021年度会計報告

単位：円 JPY

	項目	2021年実績	備考
	前期繰越(A) Opening balance	4,082,569	
収入 Income	米国寄付金 Donation from USA	1,427,273	
	教会献金 Donation from church	209,488	
	個人献金 Donation from individuals	464,000	
	受取利息 Interest	18	
	雑収入 Other income	30,000	講師料等
	LHN収入合計(B) Income total		2,130,779
支出 Expenditure	人件費 Café wages (homestay)	1,218,555	ホームステイのカフェモナミでの人件費
	通信費 Communication	120,424	
	光熱水料費 Utility	60,000	電気・ガス・水道
	家賃・駐車場 Rent/parking	720,000	
	社宅費 Rent for employee	57,000	
	広告宣伝費 Promotion	537,200	ウェブサイト管理費等
	図書費 Books	44,000	
	消耗品費 Supplies expense	49,823	ホームステイ用の布団、備品
	管理諸費 Administration	299,521	税理士報酬・振込料等
	LHN経費合計 Expenditure subtotal		3,106,523
	収益事業経費 Café expenditure	652,702	
	支出合計 Expenditure total (C)	3,759,225	
	現預金残高(A+B-C) Closing balance	2,454,123	

サポーター募集中です！

ライフ・ホープ・ネットワークは皆様からのご寄付のみで運営されているボランティア団体です。支援を必要としている女性たちと小さな命のために安定的に活動を続けるため、一人でも多くの方にサポートいただければ幸いです。

経済的に
サポートいただける方

- ゆうちょ銀行の口座から
00850-5-131374
「ライフ・ホープ・ネットワーク」
- 他行の口座から
ゆうちょ銀行（金融機関コード 9900 / 店番 089）・当座
口座番号 0131374

励まし＆お祈り
によるサポート

LHNのカフェに遊びに来たりSNSでつながったりして私たちのことを覚えていただき、お祈りください。

一般社団法人 ライフ・ホープ・ネットワーク

- 事務局：〒454-0023 名古屋市中川区石場町2-23-2 ● TEL：052-363-3393
- カフェモナミ：〒454-0022 名古屋市中川区露橋2-29-13 ● Email: support@lifehopenet.com

<https://www.lifehopenet.com/>

